

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 01-296362

(43)Date of publication of application : 29.11.1989

(51)Int.CI.

G06F 12/14

(21)Application number : 63-127801

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 24.05.1988

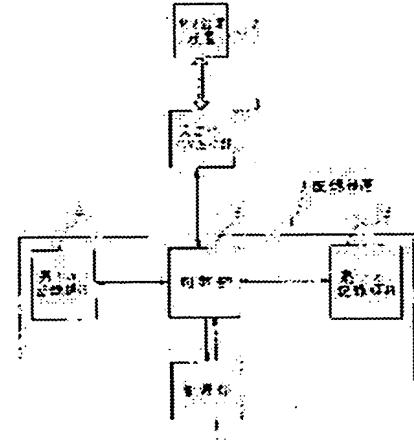
(72)Inventor : OKADA TOKIO

(54) SYSTEM FOR PROTECTING SECRECY OF RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent the access of a third person to data information by providing the 1st and 2nd recording media which respectively record address information and data information so as to separate the two kinds of information from each other.

CONSTITUTION: Upon inputting an instruction outputted from a CPU 2, a control section first reads out address information from the 1st recording medium 4 and tentatively stores the information in a storing section 7 in the case of reading out data information. Then the section 6 reads out the data information from the 2nd recording medium 5 in accordance with the address information stored in the storing section 7 and sends the read-out data information to the CPU 2 through an input-output interface section 3. At the time of recording data information, on the other hand, the section 6 first stores received address information and the data information in the storing section 7. Then the section 6 reads out the address information stored in the section 7 and registers the address information in the medium 4. Thereafter, the section 6 reads out the data information stored in the section 7 and writes the data information in the medium 5 in accordance with the simultaneously read-out address information. Thus the access of a third person to the data information can be prevented.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

⑯ 日本国特許庁 (JP) ⑮ 特許出願公開
⑰ 公開特許公報 (A) 平1-296362

⑯ Int. Cl.
G 06 F 12/14

識別記号 320 庁内整理番号 A-7737-5B

⑮ 公開 平成1年(1989)11月29日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

④ 発明の名称 記録媒体の機密保護方式

① 特願 昭63-127801
② 出願 昭63(1988)5月24日

⑦ 発明者 岡田 時雄 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑧ 出願人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑨ 代理人 弁理士 内原 晋

明細書

発明の名称

記録媒体の機密保護方式

特許請求の範囲

中央処理装置から制御を受ける記録媒体の機密保護方式において、アドレス情報を収納する第1の記録媒体と、データ情報を収納する第2の記録媒体と、前記第1の記録媒体と第2の記録媒体とを制御し記録および読み出しを行う制御部と、前記制御部が制御に使用するために読み出した前記アドレス情報を一時的に記憶する記憶部と、前記中央処理装置と前記制御部との間を接続する入出力インターフェース部とを有することを特徴とする記録媒体の機密保護方式。

発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は記録媒体の機密保護方式に関し、特に

アドレス情報とデータ情報を分離した記録媒体の機密保護方式に関する。

(従来の技術)

従来、アドレス情報とデータ情報とは、その相互の関係から、分離することは考えられていないため、同一媒体上に記録する方式を取っていた。そのため、記録媒体の機密保護方式としては、記録媒体に対する物理的機密保護、あるいはコピー時のガードを考慮する等の対策以外にはあまり良い方法がなかった。

(発明が解決しようとする課題)

上述した従来の記録媒体の機密保護方式は、アドレス情報とデータ情報を同一媒体上に記録する方式を取っているため、一度その機密保護が破れてしまうと、データのコピーや印刷等により、容易に内容が他人の目にさらされてしまうというという問題点がある。

本発明の目的は、アドレス情報とデータ情報を分離することにより、データ情報に対する第三者からのアクセスを防止することの可能な記録媒

体の機密保護方式を提供することにある。

(課題を解決するための手段)

本発明の記録媒体の機密保護方式は、中央処理装置から制御を受ける記録媒体の機密保護方式において、アドレス情報を収納する第1の記録媒体と、データ情報を収納する第2の記録媒体と、前記第1の記録媒体と第2の記録媒体とを制御し記録および読み出しを行う制御部と、前記制御部が制御に使用するために読み出した前記アドレス情報を一時的に記憶する記憶部と、前記中央処理装置と前記制御部との間を接続する入出力インターフェース部とを有する構成である。

(実施例)

次に、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例のブロック図である。記録装置1は、アドレス情報とデータ情報を記録する。中央処理装置2は、記録装置1の制御を行う。入出力インターフェース部3は中央処理装置2と記録装置1との間を接続する。記録装置1に

は、アドレス情報を収納する第1の記録媒体4と、データ情報を収納する第2の記録媒体5と、中央処理装置2からである命令を受け第1の記録媒体4と第2の記録媒体5とを制御し記録および読み出しを行う制御部6と、制御部6が制御に使用するために読み出したアドレス情報を一時的に記憶する記憶部7とが含まれている。

次に動作について説明する。

制御部6は、中央処理装置2からである命令を受けると、データ情報を読み出す場合は、初めに、第1の記録媒体4からアドレス情報を読み出し、それを一時的に記憶部7に記憶する。次に、データ情報を、記憶部7に記憶したアドレス情報に従って第2の記録媒体5から読み出す。次に、読み出したデータ情報を入出力インターフェース部3を経由して中央処理装置2に送出する。又、データ情報を記録する場合は、初めに、受信したアドレス情報とデータ情報を記憶部7に記憶する。次に、記憶部7に記憶したアドレス情報を読み出しそれを第1の記録媒体4に登録する。次に、記憶部7に記憶

したデータ情報を読み出し、同時に読み出したアドレス情報に従って第2の記録媒体5に対して書き込みを行う。

(発明の効果)

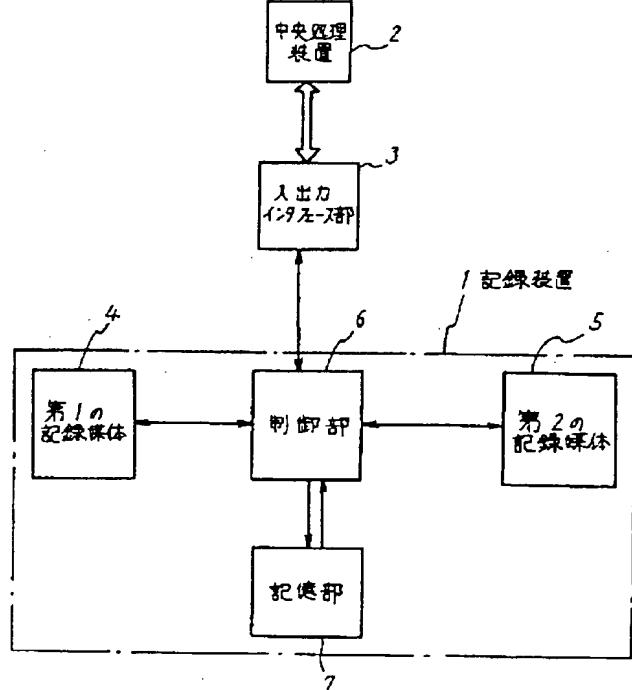
以上説明したように、本発明は、アドレス情報とデータ情報を記録媒体ごとに分離することにより、それぞれを別々に保管でき、その機密保護をより完全に実施することを可能とすることにより、データ情報に対する第三者からのアクセスを防止することができる効果を有する。

図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のブロック図である。1……記録装置、2……中央処理装置、3……入出力インターフェース部、4……第1の記録媒体、5……第2の記録媒体、6……制御部、7……記憶部。

代理人 弁理士 内 原

特許士
内原



第1図